

～技能検定一級又は単一等級技能士の方へ～

知識

職業訓練指導員 (48時間) 講習受講のお勧め

技能

指導方法



現場の管理では、技術革新のスピードへの迅速な対応、顧客ニーズに適切に応える問題解決や各種管理能力の向上など、求められる課題が沢山ありますが、技能者個々の能力を高めそれを組織力の向上につなげることが最も重要な課題であると考えられます。技能検定の次のステップとして是非チャレンジしてください。

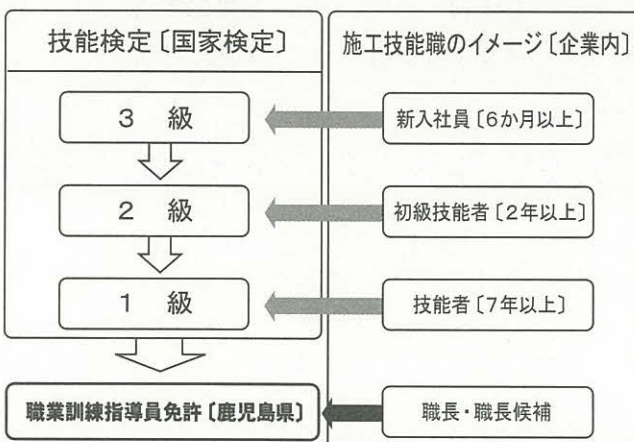
講習の目的

・この講習は、施工等一定の技能を身に付けた方々（1級又は単一等級技能士など）を対象に、今後、企業に求められる施工管理者等として最も重要な仕事の一つである部下の育成に必要な職業訓練指導に関する理論や知識を身に付けることを目的に実施します。

講習の内容

- ・この講習では、部下の職業訓練指導に必要となる、「原理」、「指導方法」、「安全衛生」、「心理」などの専門知識のほか、作業分解や指導案の作成などの演習を行うことでより実践的な能力を身につけることができます。（講習は、職業能力開発促進法に定められた所定の48時間を6日間で実施します。）
- ・また、修了後には鹿児島県に申請することで「職業訓練指導員免許」を取得することができることから、一定基準の高度な指導能力の証明としても有効になります。（講習は毎年8月頃に実施、5月頃受付となっています。）

職業訓練指導員免許取得のイメージ



実技指導案(例)

		No. _____
1. 題目	シーツ (リネン類) たたみ	
2. 目的	介護ではベッドメイキングを頻繁に行う。リネン類を正確にたたむことで、ベッドメイクの効率が上がる	
3. 目標	(1) 布地の表・裏、上・下を判別できる (2) 1人又は2人でリネン類を広げるときに都合のよい手順でたためる	
4. 指導項目	(1) 布地の表・裏、上・下の判別 (2) たたむ順序 (縦中表4つ折り→横折り→へム幅) (3) たたむ順序の意味 (広げるときに表が上、中心線と上下の見つけやすさ) (4) 1人・2人でのたたみ方	
5. 時期	第 週 日	
6. 訓練生数	20名	
7. 場所		
8. 所要時間	1時間	
9. 教材	①実習課題票No. ②シーツ	

指導段階	時間	指導項目と展開方法
導入	動機づけ	●2つのシーツを使って指導員がベッドメイクをしてみせ、どちらが手順よくたためたか、それはなぜか聞いてみる 1つは正しくたたんだシーツ、1つは間違ってたたたみ方である 次のようにまとめる ・正しくたたまれていれば、表裏・中心線・上下を見つけやすい ・正しいシーツのたたみ方がベッドメイクの効率を高める
	提示	●目標を示す (1) 布地の表・裏、上・下を判別できる (2) 1人又は2人でリネン類を広げるときに都合のよい手順でたためる ●指導項目を示す (1) 布地の表・裏、上・下の判別 (2) たたむ順序 (縦中表4つ折り→横折り→へム幅) (3) たたむ順序の意味 (広げるときに表が上、中心線と上下の見つけやすさ) (4) 1人・2人でのたたみ方 (1) 布地の表・裏、上・下の判別
動機づけ	5分	●シーツには、表・裏、上・下があることを告げる ベッドに敷くときどのように置いて敷くか2人1組で考えさせる 理由と表・裏、上・下を答えさせる
提示		●理由と表・裏、上・下を示す

(お問い合わせ先)

鹿児島県職業能力開発協会

〒892-0836 鹿児島市錦江町9-14

TEL(099)226-3240

E-mail : t-fukuoka@syokunou.or.jp

職業訓練指導員免許とは

職業能力開発施設で訓練指導を担当する者の公的な資格制度（職業能力開発促進法）です。

職業訓練指導員免許所持者は、その資質から能力開発施設のみならず企業内OJTなどによる教育・訓練の担当者（管理・監督者など）としても、その持ちうる資質から、期待できます。

※「職業訓練指導員免許」を取得するには、一定の資格要件等が必要になります。詳しくは、鹿児島県商工労働水産部雇用労政課 民間訓練係TEL099-286-3019にお問い合わせ下さい。

職業訓練指導員免許職種一覧 (123 職種)

園芸科	時計科	製本科	表具科	広告美術科
造園科	光学ガラス科	プラスチック製品科	左官・タイル科	デザイン科
森林環境保全科	光学機器科	レザー加工科	築炉科	義肢装具科
鉄鋼科	計測機器科	ガラス科	ブロック建築科	電気通信科
鋳造科	理化学機器科	ほうろう製品科	熱絶縁科	電話交換科
鍛造科	製材機械科	陶磁器科	冷凍空調機器科	事務科
熱処理科	内燃機関科	石材科	配管科	貿易事務科
塑性加工科	建設機械科	麺科	住宅設備機器科	流通ビジネス科
溶接科	農業機械科	パン・菓子科	さく井科	写真科
構造物鉄工科	縫製機械科	食肉科	土木科	介護サービス科
金属表面処理科	織布科	水産物加工科	測量科	理容科
機械科	織機調整科	発酵科	建築物設備管理科	美容科
電子科	染色科	建築科	ボイラー科	ホテル・旅館・レストラン科
電気科	ニット科	建築科	クレーン科	観光ビジネス科
コンピュータ制御科	洋裁科	枠組壁建築科	建設機械運転科	日本料理科
科	洋服科	とび科	港湾荷役科	中国料理科
発電電科	縫製科	建設科	化学分析科	西洋料理科
送配電科	和裁科	プレハブ建築科	公害検査科	臨床検査科
電気工事科	寝具科	屋根科	木材工芸科	フラワー装飾科
自動車製造科	帆布製品科	スレート科	竹工芸科	メカトロニクス科
自動車整備科	木型科	建築板金科	漆器科	情報処理科
自動車車体整備科	木工科	防水科	貴金属・宝石科	フォークリフト科
航空機製造科	工業包装科	サッシガラス施工科	印章彫刻科	建築物衛生管理科
航空機整備科	紙器科	量科	塗装科	福祉工学科
鉄道車両科	製版・印刷科		インテリア科	床仕上げ科
造船科				